

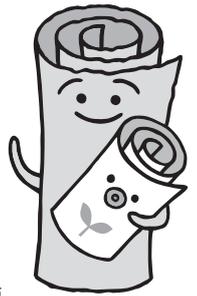
全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 応募の手引き

“紙リサイクル”コンテスト 応募のポイント①～⑤

リサイクルそのものを教えることは、なかなか難しいものですが、“紙リサイクル”なら、身近にある“紙”に絞ったリサイクルのため、子どもたちも理解しやすいと思います。

「使い終わったノートやメモ用紙等はどうのようにリサイクルされているか調べてみよう」と言えば、楽しんで取り組むはずですよ。

この応募の手引きを通して、“紙リサイクル”の理解を深め、作品づくりへのポイントをおさえながら、環境学習の1つとして役立てて頂ければ幸いです。



紙リサイクル促進大使
「カミリィ」ちゃんと「カミリィママ」

リサイクルとは何ですか？

「リサイクル」とは、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会(=循環型社会)をつくらうとする活動の1つです。

加えて「リデュース」、「リユース」といった、ごみを削減する方法もあり、リサイクルを含めて「3R(スリーアール)」と呼ばれています。

！ポイント①

本コンテストのテーマは、**紙の「リサイクル」**です。

リサイクル
Recycle
再資源化

使い終わったものを
資源に戻して利用する。

リデュース
Reduce
ごみを少なくする

なるべくごみを出さないこと

リユース
Reuse
再利用

捨てるに繰り返し使うこと

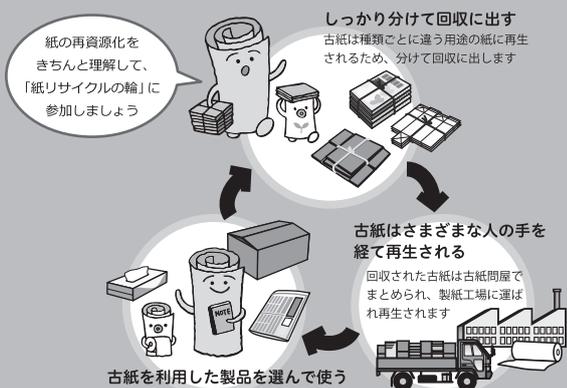
！ポイント②

リデュース、リユースは審査の対象外になります。

これまでの応募作品の中で「リサイクル」と「リデュース、リユース」が混同している作品が、まだまだ見られます。



では、紙リサイクルとは？



“紙リサイクル”とは、読み終わった新聞や雑誌、使い終わった段ボール、紙パックなどを回収し、資源に戻して新たな紙の原料に利用することです。

！ポイント③

紙リサイクルを理解してテーマを考えてみよう

良い例

- ・私の家では、使い終わった紙を集める箱を置いて古紙回収に出している
- ・リサイクルに出した紙はどうなるか調べた

紙リサイクルについて取り上げているのでOK

悪い例

- ・紙箱を筆箱にして使っている
- ・牛乳パックを洗ってまな板にしている
- ・新聞紙を雑巾代わりに使う

これらはリユースになってしまいます

持続可能な社会について

持続可能な社会は健全で恵み豊かな環境を通じ、将来にわたって一人ひとりが幸せを実感できる社会のことです。この社会を実現するために「SDGs」を掲げて、一人ひとり実践することが大切です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs(エスディージーズ)とは

サステナブル Sustainable ▶ 持続可能な
Development ▶ 開発
Goals ▶ 目標

「紙リサイクル」と「持続可能な社会」のつながり

紙リサイクルは資源の有効活用や森林資源の適切な利用につながっており、持続可能な社会に大きく貢献する行動です。古紙の分別やリサイクルされた製品の使用など、皆さんの身の回りの小さな活動が持続可能な社会につながっているのです。



ポイント④ 「古紙」と「生まれ変わる紙製品」の種類を理解しよう

古紙の種類と、リサイクルすることによって生まれ変わる紙製品を混同しないよう注意が必要です。

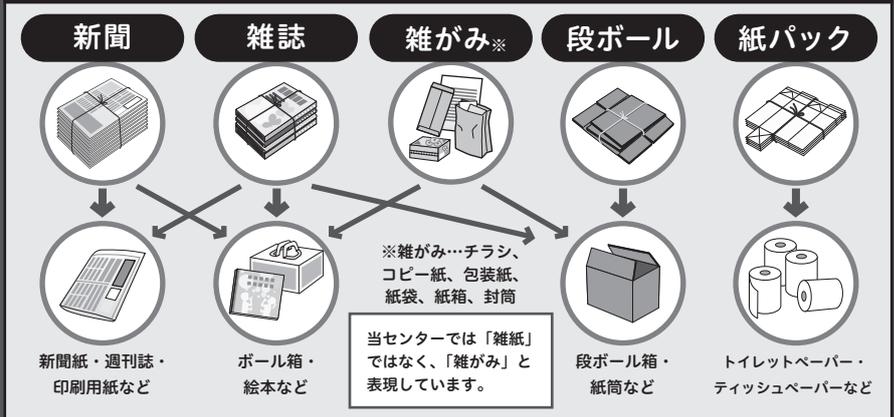
良い例

古紙回収に出した段ボールが、また段ボールに生まれ変わった

悪い例

新聞紙はトイレトペーパーになる

「古紙」と、紙リサイクルで「生まれ変わる紙製品」



「リサイクルできない紙」があるということ、その種類を理解しているかどうか大きいポイントです。加工した紙や、材質によってリサイクルできない紙があることを、大人も理解する必要があります。



例えば、これらはリサイクルできない紙の一部です

洗剤の箱やにおいのついた紙、フィルム付き封筒、レシート、紙コップ、金銀の光る紙、写真…など

ポイント⑤ ポスター作品にマークを描く場合は、マークの種類を知ろう

本コンテストに応募するポスター作品に「紙リサイクル」に関するマークを描く場合は、

①～⑤のマークを使ってください。

“紙リサイクル”に関するマーク (推奨)



① グリーンマーク



古紙を原料に利用した製品についています。

② 段ボールのリサイクルマーク



リサイクルできる段ボールについています。

③ 紙パック識別マーク



アルミのない紙パックについています。

④ 牛乳パック再利用マーク



使用済みの牛乳パックを原料として使用した商品についています。

⑤ 再生紙使用マーク



古紙を表示の割合使った再生紙についています。

紙製容器包装識別マークは、本コンテストの作品には使用しないでください。



紙製容器包装識別マーク

紙箱や包装紙などについています。このマークはプラスチック等と複合した紙箱や包装紙などにもついており、紙から紙へのリサイクルができず、固形燃料などに使われるものもあるため、本コンテストでは使わないマークにします。

他にもアルミ缶や、びん、プラスチックなどのリサイクルマークがありますが、本コンテストは「紙」がテーマです。間違えて描いてしまわないよう気を付けましょう。



作品の制作における注意点①

“紙リサイクル”に関しての情報不足からか、正確な内容を把握せず、紙以外のリサイクル等と混同する作品が多々見受けられます。
そのため、優秀な作品でありながら、評価の対象外となってしまう作品があります。

一部の応募作品で「紙リサイクルをすることで森(木)を守る、森林破壊を防ぐ」といった内容の作品が見られます。本コンテストは「森林保護について」ではなく、「紙リサイクル」をテーマにしていることを、児童・生徒に再認識させてください。

“紙リサイクル”は、使い終わった紙を新しい紙に再生することです。「紙をごみにすることを防ぐこと」であって、「森林破壊を防ぐこと」ではありません。素晴らしい作品であっても、紙リサイクルと森林保護を関連付けて書かれていると、審査の対象外となる場合があります。

紙の原料として、一部利用している木材(パルプ)は端材、あるいは廃材を使用しています。紙を作るために森林を不必要に伐採しているわけではありません。

❗ 「森」がテーマとなっているため、審査の対象外になります。

- ◆紙を作るために木々を伐採することは森林破壊に繋がる
- ◆森を守るとは地球温暖化防止となるので紙リサイクルをしよう
- ◆紙の無駄使いは森林破壊になるので紙のリサイクルをしよう

「紙リサイクルと持続可能な社会づくり」のテーマを選んだ場合のポイント

紙リサイクルを行うことは資源の有効活用や森林資源の適切な利用に繋がっています。古紙の分別やリサイクルされた製品を使用するといった身近な行動が、持続可能な社会に貢献していることを意識して作品を制作してください。
本コンテストは「紙リサイクル」をテーマとしたコンテストであり、「持続可能な社会」や「SDGs」について調べたことだけをまとめた作品は審査の対象外となる可能性があります。具体的な紙リサイクル活動や体験に基づいた作品を制作してください。



児童・生徒がテーマ選びに苦労している場合

以下のような、紙リサイクルの課題の解決策について提案する内容もテーマとして考えられます。



リサイクルできる紙がごみとして捨てられないようにするために、〇〇したらどうか。

リサイクルできない紙が古紙に混ざらないようにするために、〇〇したらどうか。

木材(パルプ)よりも古紙を原料にした紙製品を使ってもらうために、〇〇したらどうか。

古紙回収活動(集団回収活動)を継続していくために、〇〇したらどうか。

作品の制作における注意点②

書き方や表現によって惜しくも審査の対象外となってしまうキーワードと、その注意点を見てみましょう。

❗ 注目!

リサイクルできる紙は「資源」です。「ごみ」ではないため、「ごみを捨てる」、「ごみ捨て場に出す」など、リサイクルされない表現は、審査の対象外となる場合があります。リサイクルする様子を表現するときは、右にあるキーワードの使い方に気をつけましょう。
※自治体によっては「紙ごみ」、「資源ごみ」と表現している場合もありますが、当センターでは利用していませんので、本コンテストでも表現しないようにお願いします。



キーワード

リサイクルされる表現

- ・古紙 ・資源
- ・収集所に出す

リサイクルされない表現

- ・紙ごみ ・資源ごみ ・ごみ
- ・ごみに出す ・捨てる

作文・ポスターをより良く仕上げるために

「紙リサイクル」コンテスト」は、紙リサイクルについて正しく理解した上で、下記のチェックポイントとコツをおさえていくと、より良い作品に繋がります。

✓ チェック



「リデュース」や「リユース」、「森(木)の循環、保護」などと混同していませんか？

特定の個人名、団体名、企業名を入れていませんか？

他の作品などを流用したと思われる内容ではありませんか？

作文の書き方のコツ

●書き始めの工夫を考えましょう。

説明から始めるのではなく「あれ？」という驚きを持たせたり、「おもしろそう！」と思わせる書き方をする。例えば、いきなり会話で書き始めてもいいでしょう。

●話題を絞り込みましょう。

作文にする話題は、分解させずに、絞れば絞ったほど読んでもらえます。

●起承転結を作りましょう。

【起】これから書く作文の前提を説明し

【承】ポイントとなる出来事を登場させ

【転】それがどう展開していったかを書き

【結】最終的にどうなったかの結論で締める

できれば“転”は読み手を驚かせる展開にすると面白くなります。文章量の目安は、起承転結を1:4:4:1とするとバランスが良いとされています。

●ドラマチックになる部分を詳しく書きましょう。

説明は必要最小限にして、その話題のメインとなるドラマの部分をより詳しく書くと、文章に厚みが出ます。

●自分の思いや考え、本音を書きましょう。

作者である子どもたちが、喜怒哀楽の本音を出すことで、読む人の心をつかみます。

●書き終わりの文章を工夫しましょう。

作文は出だしと締めくくりが大切です。中でも締めくくり、つまり書き終わりは印象深く書くように指導しましょう。最も悩んで時間をかけていい部分です。

ポスターの描き方のコツ

●文字は大きく太くはっきり描きましょう。

キャッチフレーズは“紙リサイクル”というテーマがはっきりわかるように描かせましょう。

●文字の位置を工夫しましょう。

絵やイラストとの調和を考え、文字とのバランスがとれるような位置に配置できるように指導しましょう。

●絵やイラストは分かりやすくしましょう。

何を意味するのかが分かりやすいような絵やイラストを描きましょう。

●作文以上に誤字脱字に気をつけましょう。

キャッチフレーズは短いフレーズです。その分、誤字脱字があると、その間違いがより目立ってしまいます。

●息を吐きながら描くことが、きれいに描くコツ。

少しずつ息を吐きながら筆を進めていくと、筆先がぶれません。

●さまざまな良いポスターを見てみましょう。

良い作品を見ることで、新しいアイデアが浮かぶと同時に、制作の質も上がります。

●裏面でも手を抜かず勝負させましょう。

裏面にポスターの意図を書くときは、絵やキャッチフレーズで何を伝えたかったのか、わかりやすく説明させるように指導しましょう。



当センターのホームページでは、この「応募の手引き」のより詳しいことや、過去の受賞作品などの参考資料、紙リサイクルについてのコンテンツを用意しています。ぜひアクセスして、家庭での指導でもご活用ください。



古紙再生促進センター 紙リサイクルコンテストページ

http://www.prpc.or.jp/activities/public_relations/?id=contest#contest

紙リサイクルコンテスト

検索

スマートフォンからもご覧いただけます



応募に関する
問い合わせ先



〒105-0013 東京都港区浜松町 1-23-4 浜松町昭栄ビル 4F
『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト』事務局 (CISC 内)
TEL.03-5777-1322 / FAX.03-3432-4044